



鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス

第12回 薬学部 健康講座

7/18
土

演題： ロボットスーツを使った介護予防 ～脳卒中で残った障がい立ち向かうHAL®～

講師： 鈴鹿ロボケアセンター(株)

作業療法士 杉山 智 先生

竹腰 仁志 先生

- ・ロボットスーツHAL® (ハル) について動作原理などの説明
- ・鈴鹿ロボケアセンター、CYBERDYNEについての説明
- ・実際のトレーニングの実例紹介



HAL®は、体に装着することによって、人間の身体機能を改善・補助・拡張する世界初のサイボーグ型ロボットとして研究開発されてきました。人が筋肉を動かそうとしたとき、脳から筋肉に信号が伝わり、筋骨格系が動作しますが、その信号は、わずかながら皮膚表面でも検出されます。HAL®は、装着者の皮膚表面に貼り付けられたセンサでこの信号を読み取り、装着者の筋肉の動きと一体的に関節を動かします。これによって動作支援が可能になります。 『ロボットスーツ』『HAL』は、CYBERDYNE(株)の登録商標です。

2015 / 7 / 18 (土) 13:00 - 15:00

会場：鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス

〒513-8670 鈴鹿市南玉垣町3500-3 (駐車場完備)

(23号線 鈴鹿警察署前をに入る)

講堂内 小ホール

参加費：無料 定員：120名

事前申込：不要

問合せ先：鈴鹿市南玉垣町3500-3

鈴鹿医療科学大学 薬学部 臨床薬学センター

垣東 英史 TEL 059-340-0550 (内1406)

メールアドレス: kouza@suzuka-u.ac.jp

※本学構内およびその周辺は禁煙となっております。

